大阪港駅 60分コース

Osaka Metro まちさんぽ

中央線 大阪港駅

モダンとレトロの大阪築港

天保山（てんぽうざん）から高野山釈迦院へ

外国からの大型船が着岸できる港として大阪市が天保山に築港大桟橋を完成させたのは明治36年(1903)でした。その後に港湾施設が整備されて国際貿易港・大阪港となったのです。現在は南港へ主要施設は移りましたが、大型クルーズ船の客船ターミナルや海遊館など新しい魅力をみせています。

南粋亭芳雪　天保山(浪花百景)
大阪市立図書館

スタート駅 大阪港駅 中央線 ②号出口

約 60 分

1. マーメイド像
2. 天保山ハーバービレッジ
3. 天保山
4. 港住吉神社
5. 赤レンガ倉庫
6. 築港高野山釈迦院
7. 築港大桟橋（現中央突堤）（現みなと通）
8. 旧商船三井築港ビル 天満屋ビル

ゴール駅 大阪港駅 中央線

大阪港駅の南側には築港建設当時の歴史を伝える寺社があり、大大阪（だいおおさか）時代の貿易に使われた赤レンガ倉庫や海運会社の建物が残っていて、レトロな雰囲気を醸し出しています。大阪の港が安治川の川口から築港へ移って大きく飛躍したころの足跡を訪ねてみましょう。

大阪港駅 60分コース

Osaka Metro まちさんぽ

中央線 大阪港駅

モダンとレトロの大阪築港

天保山（てんぽうざん）から高野山釈迦院へ

外国からの大型船が着岸できる港として大阪市が天保山に築港大桟橋を完成させたのは明治36年(1903)でした。その後に港湾施設が整備されて国際貿易港・大阪港となったのです。現在は南港へ主要施設は移りましたが、大型クルーズ船の客船ターミナルや海遊館など新しい魅力をみせています。

スタート駅 → 約 60 分 → ゴール駅

中央線大阪港駅②号出口 → 中央線大阪港駅

1 マーメイド像

マーメイド像は、平成7年(1995)に大阪港とデンマークのコペンハーゲン港の文化交流の象徴として寄贈された実物の5分の4サイズの複製像で、夕陽を背景に美しいシルエットがみられます。

2 天保山ハーバービレッジ

築港の再開発事業として、海遊館や観覧車、約60店舗が集まる天保山マーケットプレースなどが平成2年(1990)に開業しました。海遊館は太平洋周辺の海洋環境を再現した世界最大級の水族館で、約620種30,000点の海洋生物を飼育展示しています。

3 天保山

天保2年(1831)、安治川の川底が浚渫（しゅんせつ）され、その土砂で築山されたのが天保山です。当初の高さは10間(約20m)、高灯籠(灯台)が設置されて目印(目標)山とも呼ばれていました。やがて桜が植樹され茶店が出て人気の行楽地になったのですが、嘉永7年(1854)にロシア軍艦ディアナ号が来航すると山を削って砲台を設置しました。明治時代には遊園地、戦後は公園として整備されています。その後、地盤沈下で山が低くなりましたが、国土地理院に標高4.53m、二等三角点として認定されました。長く日本一低い山として有名でしたが、仙台市の日和山が東日本大震災の影響でさらに低くなったため、現在は日本で2番目に低い山です。

4 港住吉神社

天保13年(1842)に航海の安全を祈って住吉大社の末社として建てられました。住吉大社で神事を行うと海に流したお札がきまって天保山付近にたどり着いたのが由縁とされています。当初は天保山山頂にありましたが、砲台建設で移転し、さらに運河建設で現在地に移転しました。

5 赤レンガ倉庫

大正12年(1923)に築港施設として住友倉庫が建設した大阪に残る数少ない赤レンガ建築です。やがてここまで臨港鉄道が敷かれて、ここから国内各地へ貨物輸送がおこなわれました。特に関東大震災の後は疲弊した東京市からの物流に替わって、日本の海上輸送の拠点になりました。平成11年(1999)に住友倉庫から大阪市へ所有が移転され、現在はクラシックカーのミュージアムやレストランとして利用されています。

6 築港高野山釈迦院

かつて空海が難波津（なにわ）から遣唐使船で唐にわたって経典を求めたことから、その聖跡を顕彰するために、明治43年(1910)河内の弘川寺の釈迦院を築港に移して高野山真言宗準別格本山築港高野山釈迦院としました。戦前は広大な寺域を誇る大伽藍で「東の四天王寺、西の築港高野山」と呼ばれました。大阪大空襲で全焼失し、戦後に本堂のみが再建されました。阪神淡路大震災でも被災して平成12年(2000)に再建されました。

7 築港大桟橋・築港大道路

明治後期に水深の浅い居留地の川口港に代わって、天保山周辺への築港計画が立てられました。明治36年(1903)に6年の歳月を経て築港大桟橋(現中央突堤)が完成し、築港大道路(現みなと通)が開通して、築港大桟橋から花園橋(現西区九条新道)間で日本初の公営路面電車(市電)も開業し、最先端の港湾開発が進められました。しかし、当初は入港する船も少なく、大桟橋は恰好の釣り場となって市電はレジャー客で賑わいました。やがて街路や倉庫などの港湾設備が整備され、大阪税関も川口からここへ移転して大阪港の拠点になりました。現在の港湾機能は南港に移転しています。

8 天満屋ビル 旧商船三井築港ビル

天満屋ビルも旧商船三井築港ビルも昭和初期に建てられた3階建ての建築で、大大阪（だいおおさか）時代の築港の繁栄を今に伝える貴重な産業遺産です。天満屋ビルは回漕店の本社で、商船三井のビルは船乗員の待機場所でした。いずれも前面道路が盛り土されて2階が1階のようにみえ、現在はカフェやギャラリーとして利用されています。

文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。
なお、掲載している情報は2025年12月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro
協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会　(お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp
後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

https://www.osaka-asobo.jp または 大阪あそ歩 で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

Osaka Metro × 大阪あそ歩 × 歴史街道　毎月第1金曜日発行

駅スタンプ押印欄

制作:大阪あそ歩委員会・茶谷幸治　編集:伏見佳子　デザイン:たばるかつこ　イラスト:櫻井さなえ